

# 令和7年フェロモントラップによるコナガ誘殺消長

農業農村支援センター、試験場で実施したフェロモントラップによる誘殺消長調査の結果です。

(農業農村支援センター調査データは7日間隔で調査したものを5日間隔に補正してあります。)

## 【コメント】

- ・塩尻市では、平年と比べ遅い、4月第4半旬に初誘殺され、以降、調査期間を通して、平年と比べかなり少なかった。
- ・小諸市では、4月第4半旬～5月第3半旬まで平年値の数倍の誘殺頭数であったが、6月下旬以降は、平年と比べ誘殺頭数は少なかった。
- ・上田市では、初誘殺はやや早く、4月の誘殺頭数は平年と比べやや多かったが、5月～6月はほぼ平年並、7月以降は平年と比べ少なかった。
- ・原村では、5月上旬及び6月中旬～7月中旬に発生の山がみられ、いずれも平年と比べ誘殺頭数がかかなり多かったが、7月下旬以降は減少し、平年と比べ誘殺頭数が少なかった。
- ・朝日村では、5月～7月の総誘殺頭数が平年値の約2倍と、かなり多かった。8月上中旬は平年と比べ少なくなり、9月以降はほぼ平年並であった。
- ・大町市では、5月第4半旬～8月第5半旬まで、過去3年間の平均値と比べ多い誘殺頭数で推移した。9月第1半旬以降減少し、平均値と比べ少なかった。
- ・長野市では、5月に大きな発生の山があり、5月の総誘殺頭数は平年の約3倍と多かったが、6月に入り平年並となり、7月以降は平年と比べ少なかった。



